

昭和二十二年六月十二日 (第三種郵便物認可)
令和四年二月十三日発行 (毎月一回十二日発行)

定価 五〇〇円

第965号

龍

跳

第七十八卷

3
月号

高知
龍跳書道会

竹
村
子
雀
書

湖光已綠皆春草
風信猶寒是杏花

湖光已綠皆春草風信猶寒是杏花

蘭亭叙

東晉

王羲之

永和九年歲在癸丑暮春之初會

於會稽山陰之蘭亭脩禊事

也羣賢畢至少長咸集此地

有峻領茂林脩竹又有清流激

湍映帶左右引以為流觴曲水

永和九年。歲在癸丑。暮春之初。會于會稽山陰之蘭亭。脩禊事也。羣賢畢至。少長咸集。此地有崇山峻

領。茂林脩竹。又有清流激湍。映帶左右。引以為流觴曲水。永和九年。歲是癸丑。暮春の初め、會稽山陰の蘭亭に會す。禊事を脩むる〔なり〕也。群賢畢く至り、少長咸な集まる。此の地 崇山峻嶺、茂林脩竹有り、又た清流激湍有りて、左右に映帶す。引いて以て流觴曲水を為し

蘭亭叙

東晋

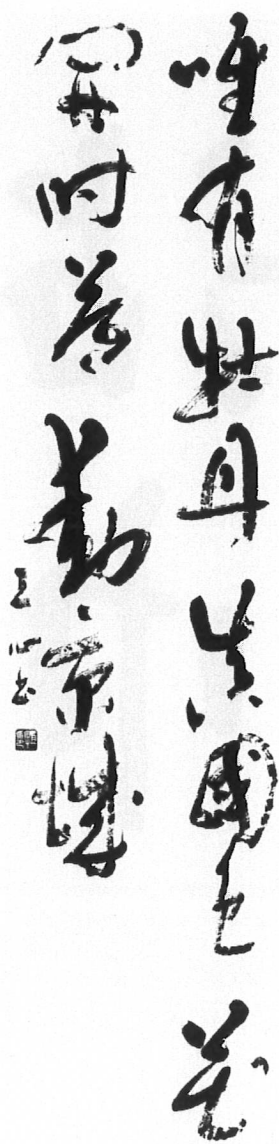
王羲之

王羲之の蘭亭叙の真筆は唐の手にありましたが、太宗の崩御に際し陵墓に入れられて真の姿がわからなくなりました。

次々と複製がくりかえされ真筆がわからなくなつたと云われています。この蘭亭叙に見る羲之の書はまことに秀麗で、自然な筆使いや強さはとても有名です。

隅田邦心書

唯有牡丹真國色花開時節動京城



塚地桂峰書

雲峰斷人行活々風泉落知有山桃花青春發紅萼




梅
川
桂
龍
書

児女共
沾巾

児女じじょと共に巾きんを沾うるおすを

2月20日締切

梅
川
桂
龍
書

好雨知
時節

好雨^{こうう}
時節^{じせつ}を知り

3月20日締切

福
原
暁
雲
書

龜鶴
長壽

きかくねんじゅ
龜鶴年壽齊し

江
西
澄
翠
臨

蘭
亭
叙
東
晉
王
羲
之

蘭
亭
脩
禊
事

蘭亭脩禊事

江西澄翠書

歸石芥者山多聖
杖書同歸雨聲明

岡林邦心臨

癸丑暮春之初會于會稽山陰之蘭亭脩

西山極山臨

漢道羊童口臨矣
之仙重從建名乞

梅心信

弘田賀峰書

春來日漸長
醉客喜丰光
稍覺池亭好
偏聞酒甕香

弘田賀峰書

齊寔為陳氏公慈懿
惠和高朗克柔甘

年以位

矢野峰臣

而易識者以其有像
也陰陽爻乎天

年以位

水田紅子

稽山陰之蘭亭脩禊
事也羣賢畢至

年以位

岩河里華

あ規極多当精時延
二紀有若入木之

年以位

大八木洋女

ささくやしふはえん
古よりおひき

年以位

中城康華

情漫有蘭隨色寧無
石對聲却憐皎

年以位

武政幽雅

人沈之為其未必所以
以の揺張るを鍾之る也

年以位

氏原美泉

自非積德累仁慶屆
無窮其熟能傳

年以位

岩崎竹山

身畫凌煙閣名藏
太室之廷吁足畏也

年以位

西内仁子

恰似春風相欺得夜
來吹折數枝花

年以位

横山星舞

条幅当選作品 福原 曉 雲 選評

★天位

矢野峰臣君 墨量豊潤にして骨格がしっかりしている。
力強い作品。

水田紅子君 集字聖教序臨にしては筆圧不足で線弱し。
岩河里華君 二行目はやや右寄りになったが、文字は引き締って佳作。

大八木洋女君 一行目下部詰った。注意のこと（重くなる）。もっと筆を吊って下さい。

中城康華君 王羲之、流れは良いが下部詰る、これも注意。

★地位

武政幽雅君 さわやかな筆法、筆力弱し。

氏原美泉君 潤渴を取り入れ、旨くまとめています。

岩崎竹山君 鄭義下碑臨はもう少し扁平にして、藏鋒を取り入れて下さい。

★人位

西内仁子君 墨量豊潤にして争座位の良いところを捉えている。あとは筆力です。

横山星舞君 楷書は臨書で勉強の事、新鮮さを取る。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◁

2月の審査は27日（日曜）午前9時30分に開始
します。審査会場は**高知城ホール**です。

抱大志を
け

寫真記念

学力試験

3月20日縮切

小学五年課題

隅田亘心書

工場
見学

3月20日縮切

の山
美水

3月20日縮切

ど若
りみ

らく

小学一年・ようち・ほいく課題

市原處艸書

はる

3月20日締切

[illegible]

[illegible]

学校名		は、	わ	葉	に、	今	こ
		よ	ず	を	女	か	の
四年		も	拾	見	の	た	と
級段		ぎ	い	つ	子	足	き
氏名		の	上	け	は	を	で
		葉	げ	た	、	入	す
		で	る	の	一	れ	。
		し	と	で	ま	た	た
		た	、	す	い	輪	っ
		。	そ	思	の	中	た
			れ				

学校名						
三年						
級段						
氏名						

表のかん板の上には、
 たいいてい小さな電灯がと
 もっていましたので、き
 つねの子は、それを見な
 がら、ぼうし屋をさがし
 ていきました。

がっこう						
	つ	じ	原	ン		
	て	や	が	ゴ	中	
ニ		牛	広	ル	国	
ねん		や	が	に	の	
だ	く	馬	っ	は	北	
きゆう	ら	な	て		の	
なまえ	し	ど		広	方	
	て	を	ひ	い		
	いた。	か	つ	草	モ	

がっこう	は	ま	か	
		っ	ら	ー
ー ねん	ス	く	す	び
きだ ゆうん	イ	ろ	貝	き
なまえ	ミ	。	よ	だ
	ー	名	り	け
	。	ま	も	は
		え		、

がっこう				
ほ ねん				
きゅう だんなまえ				
	ど		そ	
	こ	い	ら	ひ
	か	ち	の	ろ
	し	ば	な	い
	ら	ん	か	
		ぼ		ひ
		し		ろ
		は		い

春季昇段級試験作品募集

▽師範の部

(受験資格・本会準師範位に限る)

。課題

野寺分晴樹 山亭過晚霞
春深無客到 一路落松花

(山行 施開章)

野寺晴樹分ち、山亭晚霞過ぐ。春深くして客の到る無く、一路松花落つ。
野寺に木々が日にくつきりと映え、山亭には夕暮れのもやがただよう、このあたり、春色深く、たずねる人もなく、路行けば松花が静かに落ちるのみである。松花は松黄ともいう。

。右の詩句を小画仙半折に隸、楷、行草体の三枚と三十ページ王羲之蘭亭叙より、十二文字以上を節臨して計四点出品のこと。
。作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで現段級と姓号を明記すること。
。当選者は本会師範に推挙する。

▽第一部

(受験資格 一般部段位、級位の者)

。課題

林邊鳥語月微下、竹裏花飛春又深

林のあたりに鳥ないて月はやや斜めに、竹林に花散つて春は一段と深い。

。右の詩句を小画仙半折に楷、行草体の二枚と三十ページ王羲之蘭亭叙より、十二文字以上を節臨して計三点出品のこと。
。作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで現段級と姓号を明記すること。
。当選者は準師範以下相当段位に認定編入する。

▽第二部

(受験資格 一般部級位の者)

。課題

春風煦育 春風がそよ吹き万物はのびそだつ。煦は温たむ。

⑦ 封筒表に「昇試作品在中」と明記すること

。上記を楷、行、草の三体を半紙三枚出品のこと。

。作品を楷、行、草の順に縦に貼つぎすること。
。作品は無落款とし、作品裏面左下にエンピツで現級位と氏名を明記すること。
。当選者は初段以下相当段級位に認定編入する。

△出品料

師範部・八千円／第一部・六千円／第二部・四千円
(作品と同時に納入してください)

師範参考手本は本会役員は書かない。

第一、二部参考手本を希望される人は本会役員に直接申込んで下さい。潤筆料は条幅三点につき一万五千元、半紙三点につき五千元。

▽学生・学童の部

(毛筆部)

課題字句「龍跳」一月号掲載(二月二十日締切)の課題字句とします。
規格は半紙。一人一点とします。
。書体は自由です。

。作品の裏にエンピツで学年と段級位・氏名を書くこと。(段位は漢数字、級位はアラビア数字で) 作品の表には絶対に書いてはいけません。
。出品料 五百円

▽硬筆作品

。課題の文字は龍跳一月号(二月二十日締切)の課題字句とします。
。それぞれの学年に応じた硬筆用紙に規定の字句、学年段級位、氏名を正しく書いて出品してください。
。段位は漢数字、級位はアラビア数字でハッキリ記入のこと。
。出品料 五百円

△作品の締切

令和四年三月三日(木) 必着のこと。

※出品料は本会口座に振込んで下さい。

令和四年三月六日(日) 午前九時三十分より

高知城ホール

△審査場所

南国市片山四九〇 西山極山 宛

△受験作品送付先

千七百三〇〇八一

無為在 岐路 勢来	無為在 岐路 手来 岸野 松田清園	無為在 岐路 松田	無為在 岐路 河津也	無為在 岐路 雲清云
無為在 岐路 茂道云	無為在 岐路 由来	無為在 岐路 河津也	無為在 岐路 美賀	無為在 岐路 桂北云
無為在 岐路 宏人書	無為在 岐路 隆光云	無為在 岐路 輝代	無為在 岐路 淳	無為在 岐路 祝子
無為在 岐路 清辰云	無為在 岐路 岸来云	無為在 岐路 中田花穂	無為在 岐路 仁文云	無為在 岐路 和勢子

(一・二段目) 廣末幽念 選評

賀峰君 線が強く安定した作。

洋女君 力みなく伸びやかな作。

桂山君 温和な線質で明るい。

清園君 達者な運筆で重量感もある。

勢葉君 線質良く明るい作。

桂旭君 字々明るく温和な作。

(二・三段目) 野島桂山 選評

美賀君 力強く堂々とした作品。

洋堂君 勢いあり憑かれる作。

由香君 重厚な線で見応えあり。

花道君 堅実な書きぶり好感がもてる。

祝子君 筆力あり形も整い大変よい。

(三・四段目) 大八木洋女 選評

淳 君 線が強く堂々としている。

輝代君 堂々としているが少し引き

締めている。

隆光君 力みない作。

広人君 字々迫力ある作。

知勢君 大らかな作。

仁実君 丁寧な書かれています。

(四段目) 岩河里華 選評

花穂君 線質よく、バランスも良く

佳作。

慶子君 やさしさの中に厳しい線あ

り。

清辰君 一点一面無駄なく整然とし

ている。

夷桑中
崎踏 大佐 佐々木

極視聽
之娛 雅女 佐々木

永和九
年歳 休月 佐々木

疾者咸
蒙療慢 時弟 佐々木

永和九
年歳 存弟 佐々木

開國
公顔 大佐

永和九
年歳 時弟 佐々木

永和九
年歳 美子 佐々木

永和九
年歳 美子 佐々木

永和九
年歳 礼子 佐々木

永和九
年歳 里子 佐々木

開國
公顔 解代 佐々木

永和九
年歳 幸子 佐々木

祕書監
檢校侍 隆九郎 佐々木

額粵妙
法蓮華 成人 佐々木

永和九
年歳 久美子 佐々木

開國
公顔 和歌子 佐々木

永和九
年歳 慶子 佐々木

永和九
年歳 花穂 佐々木

永和九
年歳 清辰 佐々木

(一・二段目) 塚地桂峰 選評

澄翠君 字々明るくいつもながら佳

洋女君 線強く迫力あり。

皓月君 温かみのある線で深みも感

じる。

桂華君 動き大きく線も強し。

喜泉君 落ちつきのある線で調和も

良し。

美佐君 動き大きく堂々とした作。

(二・三段目) 武内美仁 選評

洋堂君 線きびしく、品格あり。

美賀君 力みなく落ち着きある作品。

宏子君 達者な運筆で見応えあり。

祝子君 躍動感があり。

星子君 温和な線質で明るく、仕上

つている。

(三・四段目) 深瀬緑堂 選評

輝代君 スケール大に明るい作。

幸子君 丁寧な作品。

隆光君 伸びやかな線でさわやか。

広人君 良く勉強され、流れも良い

臨。

久美子君 好感がもてる臨。

知勢子君 大胆で筆力あり、力強い

臨。

(四段目) 佐々木港花 選評

慶子君 伸びやかで落ち着いて書き

馴れた作品です。

花穂君 明るく伸びやか落ち着いた

作品です。

清辰君 すすきのない書です。年の最

後の横線が美しいです。

園主
のうめ
四年飯田ひかり

ひかり君Ⅱ堂々としています。

夜須 白石 葵
多ノ郷 松浦 匠海

世界遺産である広島島の原爆ドームは、未来の世界で核兵器を二度と使ってはいけないいや、核兵器はむしろ必要だ、世界の人々に警告する記念碑なのである。

……夜須 六ノ郷…… 白石 葵

世界遺産である広島島の原爆ドームは、未来の世界で核兵器を二度と使ってはいけないいや、核兵器はむしろ必要だ、世界の人々に警告する記念碑なのである。

……多ノ郷 六ノ郷…… 松浦 匠海

世界遺産である広島島の原爆ドームは、未来の世界で核兵器を二度と使ってはいけないいや、核兵器はむしろ必要だ、世界の人々に警告する記念碑なのである。

……越知 六ノ郷…… 若枝 那瑠

世界遺産である広島島の原爆ドームは、未来の世界で核兵器を二度と使ってはいけないいや、核兵器はむしろ必要だ、世界の人々に警告する記念碑なのである。

……久重 六ノ郷…… 小笠原 恋菜

越知 若枝 那瑠
久重 小笠原 恋菜

越知 岡田 夏芽
須南 前田 真音

世界遺産である広島島の原爆ドームは、未来の世界で核兵器を二度と使ってはいけないいや、核兵器はむしろ必要だ、世界の人々に警告する記念碑なのである。

……越知 六ノ郷…… 岡田 夏芽

伝記は、実在の人物の人生をえがいた読み物で、ふつう特徴的ないくつかの出来事を取り上げて、時間を追って書かれていて、自分の生き方と関わらせながら読もう。

……須南 五ノ郷…… 前田 真音

伝記は、実在の人物の人生をえがいた読み物で、ふつう特徴的ないくつかの出来事を取り上げて、時間を追って書かれていて、自分の生き方と関わらせながら読もう。

……須崎 五ノ郷…… 谷 愛莉

伝記は、実在の人物の人生をえがいた読み物で、ふつう特徴的ないくつかの出来事を取り上げて、時間を追って書かれていて、自分の生き方と関わらせながら読もう。

……一ツ橋 五ノ郷…… 岡村 朋乃佳

須崎 谷 愛莉
一ツ橋 岡村 朋乃佳

浦ノ内 中田 莉子
一ツ橋 武内 心桜

伝記は、実在の人物の人生をえがいた読み物で、ふつう特徴的ないくつかの出来事を取り上げて、時間を追って書かれていて、自分の生き方と関わらせながら読もう。

……浦ノ内 五ノ郷…… 中田 莉子

伝記は、実在の人物の人生をえがいた読み物で、ふつう特徴的ないくつかの出来事を取り上げて、時間を追って書かれていて、自分の生き方と関わらせながら読もう。

……一ツ橋 五ノ郷…… 武内 心桜

公園は、何も植えられていないかだんで困まれている、古い大きなブラタナスの木が一本だけ生えているので、ブラタナス公園とよばれている。

……久礼 四ノ郷…… 中平 千友

公園は、何も植えられていないかだんで困まれている、古い大きなブラタナスの木が一本だけ生えているので、ブラタナス公園とよばれている。

……浦ノ内 四ノ郷…… 藤田 柚葉

久礼 中平 千友
浦ノ内 藤田 柚葉

長岡 小笠原 雛子
越知 藤野 敬心

公園は、何も植えられていないかだんで困まれている、古い大きなブラタナスの木が一本だけ生えているので、ブラタナス公園とよばれている。

……長岡 四ノ郷…… 小笠原 雛子

公園は、何も植えられていないかだんで困まれている、古い大きなブラタナスの木が一本だけ生えているので、ブラタナス公園とよばれている。

……越知 四ノ郷…… 藤野 敬心

公園は、何も植えられていないかだんで困まれている、古い大きなブラタナスの木が一本だけ生えているので、ブラタナス公園とよばれている。

……長岡 四ノ郷…… 公文 琉心

訓練は、約三か月から半年かかります。仕上げの一月は、実さいにもうどう犬を使う人といっしょに生活し、町を歩く練習をします。

……多ノ郷 三ノ郷…… 森 光陽菜

長岡 公文 琉心
多ノ郷 森 光陽菜

新莊 鍋島 そう
一ツ橋 氏原 一乃

訓練は、約三か月から半年かかります。仕上げの一月は、実さいにもうどう犬を使う人といっしょに生活し、町を歩く練習をします。

新莊三・六・二〇 鍋島そう

訓練は、約三か月から半年かかります。仕上げの一月は、実さいにもうどう犬を使う人といっしょに生活し、町を歩く練習をします。

三・四・二〇 氏原一乃

訓練は、約三か月から半年かかります。仕上げの一月は、実さいにもうどう犬を使う人といっしょに生活し、町を歩く練習をします。

浦ノ内三・二〇・二〇 藤田楓

訓練は、約三か月から半年かかります。仕上げの一月は、実さいにもうどう犬を使う人といっしょに生活し、町を歩く練習をします。

お知三・二〇・二〇 大原るい

浦ノ内 藤田 楓
越知 大原 るい

はだ 玉き はるね
附属 えがしらさくら

ある日の朝のことです。うさぎのミミのところにやって来て「いっしょに野原であそぼうよ。」

はだ二・三〇 玉きはるね

ある日の朝のことです。うさぎのミミのところにやって来て「いっしょに野原であそぼうよ。」

ふ・小・二・二〇 玉きはるね

ある日の朝のことです。うさぎのミミのところにやって来て「いっしょに野原であそぼうよ。」

久礼 二・三〇 初め 木村岡虹

ある日の朝のことです。うさぎのミミのところにやって来て「いっしょに野原であそぼうよ。」

お・小・二・二〇 西宮咲希

久礼 森岡 虹
おこう 西宮 咲希

うらノ内 森田 葵
ながおか 森田 実咲

ある日の朝のことです。うさぎのミミのところにやって来て「いっしょに野原であそぼうよ。」

うらノ内二・三〇 森田 葵

あたらしいけい
いとで、おまえた
ちの チョッキを
あんで います。

ふ・小・一・三〇 森田 実咲

あたらしいけい
いとで、おまえた
ちの チョッキを
あんで います。

やす・一・三〇 西村あさひ

あたらしいけい
いとで、おまえた
ちの チョッキを
あんで います。

へ・一・三〇 西村あさひ

やす 西村 あさひ
へわ しおみあやな

うらノ内 中井 とうや
うらノ内 山本こうせい

あたらしいけい
いとで、おまえた
ちの チョッキを
あんで います。

うらノ内一・三〇 中井とうや

あたらしいけい
いとで、おまえた
ちの チョッキを
あんで います。

うらノ内一・三〇 山本こうせい

しろいぬが
しっぽを
ついてきます。

い・み・は・三・二〇 せいけいあおい

しろいぬが
しっぽを
ついてきます。

い・み・は・三・二〇 せいけいあおい

いづみ せいけい あおい
うらノ内 まさきよしひさ

– 34 –

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切って下さい。
★臨書は出典名を記入のこと。

★五級	仁淀川○佃美由希	★新規	六級編入 窪川 高橋由美	七級編入 仁淀川 中内泰子 (遅着)規定、順不同	岩谷紅花 亀井司郎 前田伸枝 松島利恵 渡部由記 西尾明美	審査 塚地 桂峰	★師範	江西澄翠 大八木洋女 奥堂皓月 野島桂山 西山極山 大原桂春 原桂春 岡林邦心 中平美峰 大庭桂紅					
岩河里華 河村容舟 水田紅子 弘田賀峰 深瀬緑堂 塚地桂峰	★準師範	横山桂華 天野喜泉 別役美佐 平井桂草 山崎旭峰 桑原智子 大崎花梢 西森令泉 山中紅風 氏原美泉 芝田由子 矢野峰臣 北村桂旭 田中恵風 岡田雄山 窪田碧泉 西山芳草 高橋桜芳 高橋朱鳥 中村里園 山本恵歩 吉田深美 田村和子 西内仁子	審査	武内 美仁	★六段	浜崎洋堂 大野美賀 濱田貴志子 中沢里花 松浦明子 下元玉泉 伊吹悠道 小野山美喜	★五段	丸田宏子 大崎紫陽 山川百合 岡村妙慧 岩崎竹山 井口花道 藤原朱鳳	★四段	橋本祝子 田村星子 浪上理奈 坂本絢子 大平圭子 岩村 祥 田村昭生 濱田順子 戸田孝北 西森啓助 岡本美水 横山星舞			
濱 恵子	★三段	鈴木輝代 大井 淳 久保地初恵 岡澤さわ 吉永美知 山崎隆志	★二段	濱田幸子 林 隆光	★初段	小笠原広人 吉村久美子 井上知勢子 松本 絵 村田啓子 植田愛菜 藤中裕美	★一級	佐々木港花	審査	佐々木港花			
井上増水 毛利恋子 田内史恵	(遅着)隨意、順不同	岩谷紅花 前田伸枝 松島利恵 渡部由記 西尾明美	第861回毛筆成績 ○印は昇級	中学部	三年	★特待生	北陵 島村莉奈	★九段	須南 上分 朝ヶ丘 弘瀬英乃玲 須崎 湯浅松那乃	★八段	朝ヶ丘 堅田菜那羽	★六段	仁淀 山本心春
岩谷紅花 前田伸枝 松島利恵 渡部由記 西尾明美	★九段	潮見台 小松諭実 多ノ郷 黄之瀬風 夜須 白石 葵	★八段	新莊 鍋島祐里花 夜須 西村柚季 夜須 渡邊紗己 上分 青木美那海 上分 朝比奈美空	★七段	一ツ橋川 崎陽菜穂 上分 梅原菜広	★六段	一ツ橋 安江はな 大篠 楠瀬太陽 南 竹内雄星	★五段	西山璃人			

★四段 久重 小笠原恋葉 長岡 小笠原伊織	★二段 多ノ郷 橋田 響	★初段 越知 堅田心結 池川 若枝那瑠 西森智弘	毛筆五年 審査 佐竹 江月	★九段 多ノ郷 橋田茉莉奈 浦ノ内 正木希実 須南 前田真音	★七段 吾桑 松浦由奈	★六段 蓮池 劉谷天海 長岡 押岡岳登 上分 植村晴陽 上分 弘田せいな 一ツ橋 田辺 楓
★五段 長岡 二宮有佳子 江ノ口岡村枇茉莉 須崎 谷 愛莉	★四段 一ツ橋岡村朋乃佳 多ノ郷 森岡大陽 波介 福永璃子	★三段 附属 立石大翔	★二段 池川 杉本咲優	★初段 一ツ橋 片岡さと 池川 大田翔夢 上分 くば田愛生	★一級 吾桑 高橋咲翔 吾桑 中越悠守	★二級 多ノ郷○今橋 蕾
★六級 一ツ橋○武内心桜	★八級 須崎 ○濱渦愛夏	毛筆四年 審査 大原 桂園	★七段 岡豊 飯田ひかり 南 奥崎誠真	★六級 長岡 森田千春	★五段 長岡 安井風葵 長岡小笠原ひなこ 岡豊 岡上真里	★四段 上分 西森美陽 須崎 谷口彩心 甲浦 (遅着) 川田聖剣
★二段 岡豊 西田紗葉 戸波 塩見維那 長岡 公文琉心 池川 藤原乙羽 永尾 庵	★初段 池川 鶴井創太 須崎 岡崎結愛	★三級 一ツ橋○田北 杏	★五級 越知 ○片岡絢女	★六級 別府 ○佃 柚汰	★七級 別府 ○藤原杏美	毛筆三年 審査 岡本 空仁
★四段 浦ノ内 宮地輝翔 新莊 鍋島 綜 南 西山あい	★三段 長岡 押岡風佳 長岡 高芝仁貴 上分 朝比奈来夢 長岡 池畠基陽	★二段 一ツ橋 氏原一乃 長岡 二宮嘉奈子 多ノ郷 森岡快晴 上分 弘田みゆ 須南 宮本里依羽 須崎 毛利秀門	★初段 うらど島田いつき 池川 大田統誠 藤沢 (遅着) 渡部一翔	★一級 一ツ橋 中澤愛加 片岡あい 川渕結衣	★初段 長岡 宮脇改太 一ツ橋 安田悠成 多ノ郷 藤川一花 池川つるいかつき	★二級 一ツ橋○宮田朱尋
★七級 馬路 ○上利綺沙	★新規 九級編入 ふぞく 三本晴士	もうひつ二年 審査 原 桂春	★三段 多ノ郷 大城リサ	★二段 須崎 松田なの 須南 前田来音 上分 小松のぞみ 上分 梅原百叶 多ノ郷 橋田たが 須崎 谷口おとは	★初段 長岡 宮脇改太 一ツ橋 安田悠成 多ノ郷 藤川一花 池川つるいかつき	★二級 一ツ橋○宮田朱尋
★一級 長岡北村さくら子 岡豊 西宮咲希 岡豊 島村倅空	★二級 秦 ○玉城遥音 池川 藤崎杜真	★三級 一ツ橋○田辺蒼月 長岡○竹内陽南子 上分○田なべり音	★四級 附属 ○江頭咲良 上分やなぎ本きい 須崎 岡崎あいり	★五級 岡豊 ○西田圭吾	★七級 江ノ口○宮崎香羽	★八級 秦 ○川上詩乃 一ツ橋○玉置はる

(出品票) 低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

のり代		地 名	氏 名	名	段	級	のり代		臨は出典名					
4年 3月 定規							4年 3月 随意							
		★九級 吾桑○梅原あおま ★新規 九級編入 潮見 須賀勇介 もうひつ一年 審査 隅田 亘心 ★二段 長岡 森田実咲 小高坂 川西こうすけ ★一級 夜須 西村あさひ 佐古 田村けんご ★五級 池川○西森 光 池川○片岡亜李紗 長岡○永尾まとい ★八級 須崎○谷脇あいら												
		★九級 吾桑○松坂みおね 須南○田中あお 吾桑 ○高橋そら もうひつ ようち・ほいく 審査 隅田 亘心 ★三級 須南○西村たいき 須崎○毛利こはな ★四級 浦ノ内○正木芳尚 須崎 ○領木あみ												
		★九級 多ノ郷 松浦匠海 夜須 西村柚季 大篠 楠瀬太陽 須崎 谷脇鈴来 潮見台 小松論実 上分 梅原菜広 越知 堅田心結 浦ノ内 森田愛咲 舟入 西野心海												
		★九級 久重 小笠原恋菜 越知 野瀬智妃路 南 西山璃人 ★五級 浦ノ内 岡本拓真 ★四級 越知 岡田夏芽 越知 岡田実桜 長岡 小笠原伊織												
		★八級 上ノ加江 ○政岡陽太 ★一級 越知 細川凜香 越知 岡林柚七 多ノ郷 橋田 響												
		★初段 ★九級 浦ノ内 正木希実 多ノ郷 橋田菜奈 ★九級 須南 前田真音 一ツ橋長山英美利 長岡 押岡岳登 江ノ口岡村枇茉莉 ★八級 須崎 谷 愛莉 蓮池 刈谷天海 一ツ橋 田辺 楓 長岡 内田泰平												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★八級 越知 若枝那瑠 南 竹内雄星 一ツ橋 安江はな 上分 青木美那海 須崎 湯浅松那乃 浦ノ内 奥野海翔 ★七級 馬路 久保優菜 ★六級 久重 小笠原恋菜 越知 野瀬智妃路 南 西山璃人												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄之瀬風 上分 朝比奈美空												
		★七級 浦ノ内 美島望花 夜須 渡邊紗己 夜須 白石 葵 久礼 中平暖乃 新莊 鍋島祐里花 清新 濱田ななみ 一ツ橋 崎陽菜穂 多ノ郷 黄												

★七段 久礼 薦田もこ 久礼 市川笑梨 吾桑 松浦由奈 上分 弘田せいな 多ノ郷 森岡大陽	★六段 附属 立石大翔 久礼 松本紗重弥 上分 植村晴陽	★五段 一ツ橋岡村朋乃佳 波介 福永璃子 長岡 二宮有佳子 越知 和田陽真莉	★三段 一ツ橋森田明日香 越知 片岡笑瑠	★二段 浦ノ内 中田莉子 一ツ橋 片岡さと 浦ノ内 中井小鈴	★初段 越知 岡林桃加 上分 くば田愛生 多ノ郷 今橋 蕃
★一級 一ツ橋 武内心桜 吾桑 中越悠守	★二級 上ノ加江 ○中田有恵海	★三級 吾桑 ○高橋咲翔 上ノ加江 ○松丸 仁	★五級 須崎 ○濱渦愛夏 硬筆四年 審査 市原 處艸	★七段 久礼 中平千友 一ツ橋 日浦靖仁 岡豊 飯田ひかり	★六段 浦ノ内 藤田柚葉 長岡 森田千春 戸波 塩見維那 浦ノ内 森田沙和良 浦ノ内 美島乙花
浦ノ内 宮本心太 須崎久保田湧乃介 浦ノ内 池田穂乃 須崎 谷口彩心	★五段 長岡小笠原ひなこ 戸波 戸田彩希 長岡 安井風葵 上分 西森美陽 浦ノ内 岡本大陸 浦ノ内 濱田龍暉 岡豊 岡上真里	★四段 越知 藤野敬心 越知 米澤知那 一ツ橋 田北 杏 越知 片岡絢女 南 奥崎誠真 佐古 田村依千華 (運着) 川田聖剣 甲浦	★三段 一ツ橋 德平温郎	★二段 長岡 公文琉心 越知 岡田侑晟	
★初段 須崎 岡崎結愛 一ツ橋 奥田健琉 五所 濱田 梓 長岡 永尾 庵	★一級 岡豊 西田紗菜	★三級 上ノ加江 ○後藤まなか	★五級 浦ノ内○田中日向 上ノ加江 ○政岡希子	硬筆三年 審査 小川 理香	★七段 多ノ郷 森光陽菜
★五段 浦ノ内 宮地輝翔 初月 川淵結衣	★四段 一ツ橋 氏原一乃 浦ノ内 矢野蒼真 浦ノ内 藤田結愛 長岡 押岡風佳	★三段 長岡 高芝仁貴 上分 朝比奈来夢 多ノ郷 森岡快晴 一ツ橋 中澤愛加 馬路 牛窓環菜 一ツ橋 宮田茉尋 久礼 濱田かなで	★二段 浦ノ内 藤田 楓 一ツ橋 片岡あい 須崎 竹村奏佑 上分 弘田みゆ 須崎 宮本里依羽 須崎 毛利秀門 (運着) 駒崎愛恵 藤沢	★初段 長岡 二宮嘉奈子 越知 和田莉歩	
★一級 一ツ橋 山下斗愛 一ツ橋 志磨村彩 一ツ橋 梅原勇人	★二級 馬路 ○浅野由梨	★三級 越知 ○大原るい 浦ノ内○森田大翔	★四級 一ツ橋○辻信之助	★五級 上ノ加江 ○政岡明里	★六級 馬路 ○上利綺沙 浦ノ内○岡林夢大
★新規 十級編入 ふぞく 三本晴士 こうひつ二年 審査 中平 美峰	★三段 秦 玉城遙音 多ノ郷 大城リサ 多ノ郷 松浦ゆいな 上分 梅原百叶 一ツ橋 安田悠成	★二段 附属 江頭咲良 一ツ橋 田辺蒼月 浦ノ内 藤田あやは 須崎 小松のぞみ 上分 小松のおと 須崎 谷口おと 多ノ郷 橋田天が	★初段 久礼 森岡 虹 長岡 宮脇改太 長岡北村さくら子 浦ノ内 窪田まゆ 久礼 松本かんな 久礼 竹内陽南子 浦ノ内 松山しやう		

(出品票) 低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

[illegible]

※競書課題について

令和四年四月号からの競書課題が新しくなります。

○学童毛筆は二月号67ページ掲載の課題を、

○硬筆は各学年に準じた課題を。

担当者は2月27日(日)審査日まで提出して下さい。



【認定証について】

昇段、昇級された方で認定証が入用の方は、左記によりお申し込み下さい。

記

★師 範 三千元

★準師範以下一般 二千元

★学 生 一千元

(注意 申込時左記事項を必ずお知らせ下さい。)

① 昇段の年月日

② 学生は学校名と学年

③ 一般は市町村名

(申込先)ご希望の先生に要項を明記した文書で

直接お申し込み下さい。

〒七八一―七四二二

安芸郡東洋町河内三〇四

龍跳書道会 福原暁雲

〒七八一―二三〇一

高岡郡越知町越知甲二二―一七―一六

龍跳書道会 梅川桂龍

春・秋・季 昇段(級)試験申し込み内訳表

申込者氏名 _____

	出 品 料	点 数	金 額	払い込み方法 (いずれかを○で囲む)
師範の部 (春季のみ)	8000円	点	円	現金・為替・振込み
第一 部	6000円	点	円	現金・為替・振込み
第二 部	4000円	点	円	現金・為替・振込み
学生・学童の部	出 品 料	点 数	金 額	払い込み方法 (いずれかを○で囲む)
毛 筆	500円	点	円	現金・為替・振込み
硬 筆	500円	点	円	現金・為替・振込み
合計金額			円	

※ 昇試作品に上記内訳表を必ず添付して下さい。 ※グループで送られる方は合計点数で記入して下さい。
 ※ 第一部と第二部は3枚 (師範は4枚) を1点として下さい。

連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先

・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一

隅田 亘 心

龍跳書道会 新築口座落中

01690-3-31925

電話(〇八八九) 三五〇九七一番

・月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山 極 山

電話(〇八八) 八六五―八八五七番

・「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原 曉 雲

電話(〇八八七) 二九―二六五〇番

・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西 澄 翠

電話(〇八八九) 四二―三〇六七番

・送本についての連絡先

(冊数の相違等については当方へご連絡下さい。)

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中 恵 花

電話(〇八八九) 四七―〇七二一番

あとがき

私はこの一月で満九十歳。寄る年波には勝てず、刀折れ矢盡きた。成し遂げる事ができなかった「思い」はたくさんある。今、ここにこの場を借りて、この三十年を振り返ることを許してもらいたい。

私は平成四年退職と共に書道教室を開いた。それまで数年間、町の教育委員会主催の文化教室で書道の部の講師をしていた。龍跳書道会ではまだ準師どまり、自分如き者が講師を引き受けてよかうかと迷ったものだが、それは自身の学習の為にもなるということで引き受けてしまった。

「受講者は皆新人ばかりですからネ」という担当者のことばを鵜呑みにして引き受けたが、いざ面と向かってみると受講者の中にはかなりの強者もいてたじろいだ。しかし、そこは元商売の「教師づら」で凌ぎつた。

教育委員会の講習は年間十週(二週間に一度、約二ヶ月)であった。受講する人の中には、それでは物足りなくもつと続けてほしいという要望もあり、私もそれに乗せられてしまつて民間の教室開設という次第に至つたわけである。

が、私にはまだしておかなければならない課題があった。それは龍跳書道会の師範位を得ることである。町田先生や他の先生方のご指導を仰ぎながら、やつと平成六年二度目の受験で合格させていただいた。

それを機に私は下元六象先生の後を継いで龍跳書道会西の拠点としての歩みを続けていくのである。以下次回に。

令和四年一月二十五日

月例競書課題

部 別	締切日	
	三月二十日	四月二十日
縮切	三月二十日	四月二十日
縮切	三月二十日	四月二十日
一般条幅	任 意	任 意
半紙規定	好雨知時節	當春乃發生
半紙随意	任 意	任 意
中学三年	大志を抱け	春山の彼方
二年		
一年	記念写真	不言実行
小学六年	学力試験	常緑の木
五年	工場見学	入学祝い
四年	山水の美	入学式
三年	若みどり	社 会
二年	さくら	は る
一年	は る	た け
保 育		

会 費 の 送 金 に つ い て

会 費 ：半年分 3,000円 / 1 年分 6,000円

1 ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は〒料不要)

11 冊以上は次の計算による。(1 ヶ月分)

Ⓐ	1 冊～3 冊	80 円
Ⓑ	4 冊～8 冊	150 円
Ⓒ	9 冊・10 冊	210 円

〈例〉 12 冊 ①+Ⓐ=290 円×月数
 17 冊 ①+Ⓑ=360 円× "
 30 冊 ①×3=630 円× "

◎会費と龍跳誌〒料は原則として半年分または1 年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ
 ・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
 ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
 (お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号(○冊)より○月号まで○ヶ月分
 誌代 ○円 / 〒料 ○円

と記入のこと。

編集室

福 原 暁 雲

野 島 桂 山

江 西 澄 翠

中 平 美 峰

発行人

福 原 暁 雲 (本部)

安芸郡東洋町河内三〇四

電話 (〇八七) 二九一二六五〇

発行所

龍跳書道会

電話 (〇八七) 二九一二六五〇

印刷所

(有)笹岡印刷所

須崎市東古市町二一六

電話 (〇八九) 四二一〇二四四

月例作品送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山宛

電話 (〇八八) 86518857